

第3学年単元指導計画【全12時間】

単元名：Unit4 Be Prepared and Work Together

【研究テーマ】

「できた・わかった」を実感しながら、コミュニケーションに挑み続ける児童・生徒を育てる指導を求めて
～活動を通して習得し(思考しながら表現し)、仲間と共に高まる子どもの育成～

本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・間接疑問文、現在分詞、過去分詞の特徴やきまりを理解している。(知識) ・自然災害や必要な防災などについての自分の考えを、間接疑問文、現在分詞、過去分詞などを用いて伝える技能を身に付けている。(技能)	・ALT の地震への不安を解消できるように、ALT の立場やアンケート結果に応じて、地震が起きた後の状況や、必要な防災とその有用性について伝えている。	・ALT の地震への不安を解消できるように、ALT の立場やアンケート結果に応じて、地震が起きた後の状況や、必要な防災とその有用性について伝えようとしている。

【本単元で働かせる見方・考え方】

ALT の不安を解消するスピーチになるように、アンケート結果をもとに表現内容を考える。

【単元を貫く課題】

高山市に新しく来た ALT の不安を解消し、安心して生活してもらうために何ができるだろう。

【中心となる言語活動】 話すこと [発表] (イ)

時	① Orientation [SL]	② Scene1 [SLRW]
ねらい	ALT の高山市での生活に関するアンケート結果を確認することを通して、ALT が地震を心配していることを理解し、単元の見通しをもつことができる。	外国人市民意識調査の結果を読み取り、問題点を伝えることができる。
学習活動	1. Introduction ・高山市に新しく来た ALT を紹介する。 ・ALT の高山市での生活に関するアンケート結果を提示し、地震に不安を抱えていること確認する。[L] アンケート項目とその回答 ①I am happy to be able to work in Takayama. → 【Yes】 100% 【No】 0% ②I have something to worry about living in Takayama. → 【Yes】 80% 【No】 20% ③What are you worried about? Free writing →I heard there are a lot of earthquakes in Japan, but... ・I don't know the situation after earthquakes. ・I don't know what we should prepare for earthquakes. ④I've prepared something for earthquakes in my house. → 【Yes】 20% 【No】 80% 2. Activity 1 ・JTE の話を聞き、過去の自然災害の被害や、今後予想されている地震、避難所の様子を確認する。 3. Activity 2 ・再度 ALT のアンケート結果を確認し、感じたことを伝え合う。[SL] 4. 単元を貫く課題を確認する。 高山市に新しく来た ALT の不安を解消し、安心して生活してもらうには何ができるだろう。 5. Good Job Time ALT が地震に対して不安を抱えていることが分かった。この単元で自然災害について学習して、安心してもらえるような活動をしたい。	1. Preview ・p.58 のメグとサムの対話から、分かったことを伝え合う。 What do you think about the survey results? 2. Activity1 ・本文内容を理解する。[R] ・新出語彙と新出文法の確認。 ・音読練習[R] 3. Thinking Time[SL] ・教科書本文のアンケート結果についての問題点を考える。 4. Activity2 ・問題点をペアで交流する。[SL] S1: What do you think about the survey results? S2: I think there are some problems. S1: What troubles are there? S2: We should know where the local shelter is, but only 27% of them know it. How about you? S1: I think so, too. And there is another problem. They don't know how much food and water they should store. So, they can't store enough food and water. 5. Performance Time ・問題点を書きまとめる。[W] 6. Good Job Time 災害に備えて外国人が知らないことが多くあることが分かった。高山市の ALT にもアンケート結果に応じて必要な情報を伝えたい。
テストとの関連	・3. Activity2 は、意見陳述問題に対応しており、自分の考えを適切に伝える力を育成する。	・4. Activity2 は意見陳述問題に対応しており、自分の考えを適切に伝える力を育成する。

時	③④ Scene2[SLRW]	⑤⑥ Read and Think 1 [SLRW]	⑦⑧ Read and Think 2 [SRW]	⑨ Unit Activity [SLW]
ねらい	災害への備えについて大切なことを伝え合う活動を通して、理由を加えて自分の意見を伝えることができる。	日本で地震にあった二人の外国人の体験談を読む活動を通して、彼らに何が起きたのか、どんなことに困ったのか理解し、高山市に新しく来た ALT がどのようなことに困るのか考えを書くことができる。	若葉市の外国人支援の取組について読む活動を通して、外国人向けの避難訓練やハザードマップを作成したことを理解し、自分が行うとよい取組について伝え合うことができる。	災害時に役立つ図記号や標識について説明する活動を通して、現在分詞や過去分詞の形、意味、用法を理解し、外国人にその意味が伝わるように、既習表現を活用しながら説明する文を書くことができる。
学習活動	<p>1. Small Talk 『What should we prepare for earthquakes?』</p> <p>2. Introduction ・Oral Interaction を通して、本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">What should we prepare for disasters? Why?</div> <p>3. Activity1 ・本文内容を理解する。[R] ・新出語彙と新出文法の確認。 ・音読練習[R]</p> <p>4. Thinking Time ・地震発生時スリッパがなぜ必要かについて考える。</p> <p>5. Activity 2 ・本時の課題について自分の考えを伝え合う。[SL]</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>S1: Why should we prepare slippers? S2: If we walk on the glass, we get injured. If we wear slippers, we can walk on the glass. So, we can evacuate safely.</p> </div> <p>6. Performance Time ・話したことや仲間の話をもとに、自分の考えを書きまとめる。[W]</p> <p>7. Good Job Time</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">災害時に向けてどんな準備が必要か考えることができた。ALT にも伝えたい。</div>	<p>1. Small Talk 『What troubles will we have after earthquakes?』</p> <p>2. Introduction ・Oral Interaction を通して、本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">What kind of troubles do the foreign people have?</div> <p>3. Activity1 ・本文内容を理解する。Round1,2,3 [R] ・新出語彙と新出文法の確認。 ・音読練習[R]</p> <p>4. Thinking Time ・新しく高山市に来た ALT が地震発生時に困ることを考える。</p> <p>5. Activity2 ・メモしたことをもとに自分の考えを伝え合う。[SL]</p> <p>6. Performance Time ・話したことや仲間の話をもとに、自分の考えを書きまとめる。[W]</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ALTs can't imagine the situation after an earthquake. So, they don't know what to do after it. They can't understand Japanese, so, they have troubles in many ways. But only 20% of ALTs have prepared for an earthquake. If they can't charge their smartphones, they can't search anything.</p> </div> <p>7. Good Job Time</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地震が起きたら何をすべきか知らない外国人がいることを知った。彼らのためにできそうなことをもっと考えたい。</div>	<p>1. Small Talk 『What troubles will we have at a shelter after earthquakes?』</p> <p>2. Introduction ・Oral Interaction を通して、本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">How can we help foreign people for disasters?</div> <p>3. Activity1 ・本文内容を理解する。Round1,2,3 [R] ・新出語彙と新出文法の確認。 ・音読練習[R]</p> <p>4. Thinking Time ・新しく来た ALT の為に行うとよい防災の取組についてメモする。</p> <p>5. Activity 2 ・メモをもとに、新しく来た ALT の為に行うとよい取組についてペアで伝え合う。[S]</p> <p>6. Performance Time[W] ・ALT の為に行うとよい取組について書きまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>I think it's important for us to tell ALTs what to prepare for disasters. We should have an evacuation drill in English.</p> </div> <p>7. Good Job Time</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ALT の命を守る為に防災の必要性を伝えたい。</div>	<p>1. Small Talk 『Why should we prepare a portable radio?』(セールスマンになりきって、防災グッズの良さを伝える)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's tell about the signs in English.</div> <p>3. Activity1[S] ・p.66 Step1 : ペアで図記号の意味について対話する。</p> <p>4. Thinking Time ・ALT が町中で見て理解できなかった日本語標識の意味を、どのように伝えるか考える。</p> <p>5. Activity 2 ・ペアで伝え合う。[SL]</p> <p>6. Performance Time [W] ・看板の説明文を書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>The sign tells you where you can find an evacuation area in case of a flood of rivers. Turn right, keep going for 180m, and you can get there.</p> </div> <p>7. Good Job Time</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">分かって当然と思うことも、外国人にとって分からないことがあるかもしれない。外国人という立場を考えながら防災の必要性についてスピーチしたい。</div>
テストとの関連	・5. Activity 2 は意見陳述問題に対応しており、自分の考えを適切に伝える力を育成する。	・6. Performance Time は、意見展開問題に対応しており、読み取った事実と自分の考えを書きまとめる力を育成する。	・6. Performance Time は、意見展開問題に対応しており、読み取った事実と自分の考えを書きまとめる力を育成する。	・5. Activity 2 は意見陳述問題に対応しており、自分の考えを適切に伝える力を育成する。

時	⑩単元末活動 1[SL]	⑪ 単元末活動 2 [SL] 【本時】	⑫ Performance Test [SLW]
ねらい	ALT のアンケート結果を再確認したり、過去の災害の被害や具体的な防災グッズを調べたりすることで、ALT の不安を解消するメッセージ文を書くことへの意欲をもつことができる。	アンケート結果から分かる ALT の地震に対する不安を解消し、安心して高山で生活できるように、「地震後の状況」や「必要な防災グッズとその有用性」などについて話すことができる。	パフォーマンステストで災害や防災に関して話す活動を通して、相手の知りたい内容に合わせて、必要な情報を選択しながら話すことができる。
学習活動	<p>1. Small Talk 『Why should we prepare the work gloves?』</p> <p>2. Introduction ・Oral Interaction を通して、本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's search emergency kits.</div> <p>3. Thinking Time ・ALT のアンケート結果を確認し、問題点を考える。</p> <p>4. Activity1[SL] ・アンケート結果から分かることを交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALTs don't know what will happen after earthquakes. ・ They don't prepare for earthquakes. ・ They don't know what to prepare. So, after earthquakes, ALTs will have troubles. </div> <p>5. Activity2 ・タブレットを活用し、過去の災害の被害や、防災グッズの必要性を調べる。 ・伝える防災のテーマ（スリッパ、ホイッスル等）を考える。</p> <p>6. Good Job Time</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ALT の不安を再確認できた。次の時間に ALT の不安を解消できるようなメッセージ文を考えたい。</div>	<p>1. Small Talk 『Why should we prepare water?』</p> <p>2. Introduction ・Oral Interaction を通して、本時の課題をつかむ。</p> <p>3. Today's Aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Let's solve ALT's worry with your advice.</div> <p>4. Thinking Time</p> <p>5. Activity 1[SL] (1) メモをもとに、自分の考えをペアで伝え合う。 (2) 聞き手は、相互評価の観点について、評価や助言を伝える。</p> <p>6. Sharing Time (1)代表生徒1名のスピーチを聞き内容面のよさを確認する。また、相互評価の観点として位置付ける。 【確認する内容面のよさ】 □防災グッズについての情報(有用性等)が具体的か。 (2)共通の文法間違いを取り上げ全体で共通理解する。 (3)ALT がさらに知りたい情報を全体に投げかけ、相互評価の観点を加える。 【相互評価の観点】 □「地震後の状況や問題点」を具体的にイメージできるか。</p> <p>7. Activity 2[SL] (1) 別のペアで伝え合う。 (2) 聞き手は、相互評価の観点をもとに、評価や助言を伝える。</p> <p>8. Performance Time ・代表生徒1名が ALT にスピーチを行う。ALT から内容面で価値つけてもらうことで、本時の達成感を味わう。</p> <p>9. Good Job Time ・本時学んだことなどについて、ワークシートに自己評価を記入する。</p>	<p>テストの方法</p> <p>①教室で全員待機する。 ②試験会場 1 に移動し、問題用紙を読み試験内容を確認する。(3分間) ③試験会場 2 に移動し、タブレットのインカメラを活用し、自分でスピーキング映像を撮影する。</p> <p>テストの内容</p> <p>アメリカから来た新しい ALT が、日本での生活についての不安を話しています。安心して日本で生活できるように、以下の相談に対して2分以内でアドバイスをして下さい。</p> <p>ALT : I heard some earthquakes happen in Japan every year. I can't imagine the situation after earthquakes and I don't know what I should prepare for earthquakes. I'm worried about them.</p> <p>※紹介する防災グッズは以下から1つ選ぶこと。ただし、前時とは異なる防災グッズにすること。 【slippers, portable radio, whistle, hot pack, alcohol-based sanitizer】</p> <p>評価の観点 知識・技能</p> <p>A 主語動詞があり文法の誤りがほとんどない。 B 主語動詞があるが、文法の誤りがいくつかある。 C 文法上の誤りが多い。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>A「災害後の状況」「防災グッズとその有用性」について話している。 B「防災グッズとその有用性」について話している。 C「防災グッズとその有用性」について話していない。</p> <p>※テストの待ち時間に前時に行ったスピーチ活動のライティング (ALT へのメッセージ) を行う。</p>
テストとの関連	・4. Activity 1 は意見陳述問題に対応しており、自分の考えを適切に伝える力を育成する。	・7. Activity 2, は意見陳述問題に対応しており、自分の考えを適切に伝える力を育成する。	・特記事項なし